



公立西知多総合病院だより

第15号(4～6月号)



当院に導入した放射線治療機器ラディザクト

開院5年目を迎えて／病院長・・・P1

新任事務局長あいさつ／事務局長・・・P2

“口腔がん”ってなに？／歯科口腔外科・・・P3、P4

切らずに治すオーダーメイドがん治療／放射線治療科・・・P5

放射線治療とは／放射線治療センター看護師・・・P6

開院 5 年目を迎えて

公立西知多総合病院 院長 浅野昌彦



当院は、平成 27 年 5 月 1 日に開院して 5 年目を迎えました。知多半島北西部の急性期医療を担う中核病院として、質の高い医療の提供と皆さまに愛される病院を目指して、この 4 年間職員一丸となって努力してきました。

平成 30 年度の延べ入院患者数は 116,669 人（1 日平均 319.6 人）、外来患者数は 194,472 人（1 日平均 797 人）で多くの患者さんの治療に当たりました。また、救急患者さんに対しては、救急診療センターで、年間 23,777 人（内：救急車での搬送は 5,117 件）の救急治療に当たりました。地域の皆さまが安心して暮らすために、突然の病気の発症に対しても、夜間・休日も休みなく救急医療を提供してきました。まだまだ常勤医師が不足していますが、今後も「断らない救急医療」を提供するよう努力していきます。

本年 4 月から待望のがん放射線治療を開始しました。放射線治療センターでは、最新の放射線治療機器が設置され、放射線治療専門医による癌病巣のピンポイント照射治療が可能になりました。当院では、各種がんの早期診断から手術治療、抗癌剤治療を行っていましたが、これに加えがんの放射線治療が行えるようになりました。高齢化の進展で高齢のがん患者さんが増える中、副作用の少ない放射線治療を行うことができれば、体により優しい治療が提供できます。地域のがん患者さんを地域の病院で治療し、完治を目指していきます。

今後も、地域の皆さまを守り、患者さんに寄り添った医療を提供していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

新任事務局長あいさつ

事務局長 後藤輝夫



このたび、岡田前事務局長の後任として事務局長を拝命しました後藤輝夫と申します。昨年度まで、愛知県職員として病院経営や医療行政に携わり、直近5年間は愛知県立がんセンター運用部長として最先端のがん医療の提供、研究所の再編など環境整備を担当してきました。

元号が「令和」になり、当院も本年5月で5年目を迎えました。開設以来、知多半島北西部地域の急性期医療を担う中核病院として、救急医療及び地域医療を柱に地域医療を支え、昨年11月には「地域医療支援病院」の指定を受けました。

今年4月には、身体負担が少なく高齢者にも安全に治療ができる最新鋭の放射線治療機器(IMRT)を備えた放射線治療部門を設け、自施設で、手術、抗がん剤治療、放射線治療を効果的に組み合わせた「集学的治療」が可能となり、これまで以上に地域医療に貢献できるものと思っています。

現在、「公立西知多総合病院改革プラン(29年度～32年度)」の行動計画に基づき具体的取り組みを進めていますが、医師不足などにより、改革プランどおりの成果が上がらず、診療制限を始め、患者、医療機関、関係者の方々に多大なご迷惑、ご心配をおかけしております。

私自身、地域医療に不慣れなため、多少の不安と戸惑いを感じていますが、安心安全で質の高い医療を提供し「信頼される病院」であり続けるため、全力で頑張っていきたいと思っています。今後も皆様方からご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

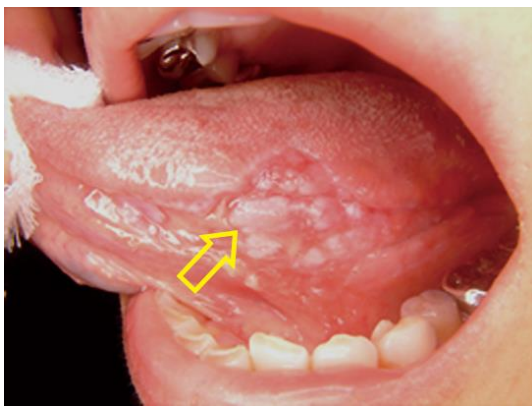
“口腔がん”ってどんな病気？ 歯科口腔外科部長 松本行史

本年２月に有名人の舌がんが報道され、口の中のがん“口腔がん”に関心を持たれた方も多いのではないのでしょうか。口腔がんの特徴や要因について、簡単に説明したいと思います。

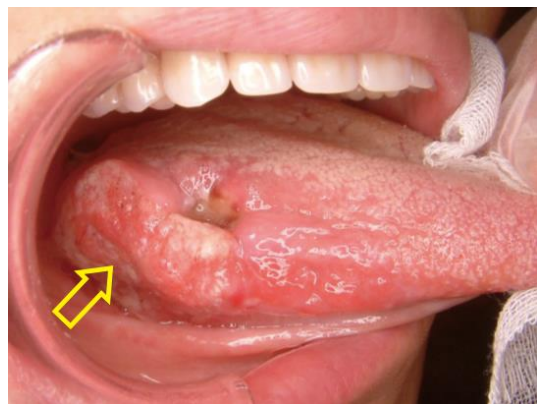
発生部位

歯以外、口の中のどこからでも発生します。その中で舌がん（図１、２）が最も多く、上下歯茎の歯肉がん（図３、４）、舌の下側の口底がん（図５）、頬の内側の頬粘膜がん、上あごの内側の口蓋がんと続きます。（※図１～５ 日本口腔外科学会 HP より引用）

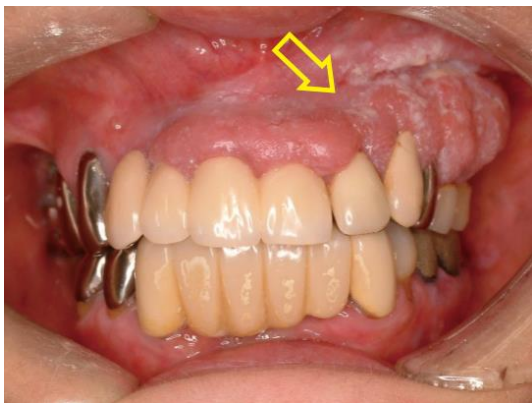
（図１）



（図２）



（図３）



（図４）

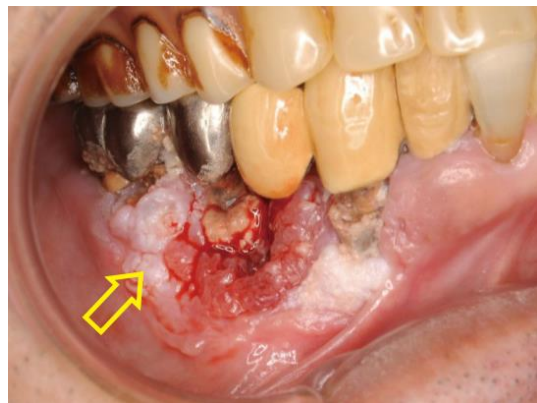
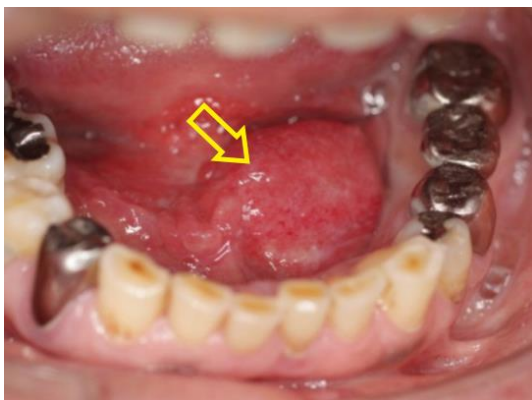


図５）



特 徴

口の中は、見る、触る、ことができますので、がんの発見は比較的容易です。がんは、表面がいびつな形をしていて出血しやすく、硬いしこりを触れるのが一般的です。ただし、口内炎や歯周病などで見分けが付きにくい場合もまれにあります。

初期から痛むこともあります。ある程度進行しなければ痛まないことも多いです。

また、口とつながっている食道、胃、肺などにがんが合併（重複がん）することも15%ほどあるとされています。

罹 患 率

近年では10万人に7～8人と、ここ40年で3～4倍近い患者数になっていると言われ、稀ではなくなっています。また、好発するとされている60～70代の男性だけでなく、女性や若い人の口腔がんが増加傾向にあります。

進 展

がんは発生した場所で増大します。転移はまず首のリンパ節に高頻度で起こり、その後血液の流れに乗ると遠隔転移します。遠隔転移の最初の好発部位は肺です。

これらの程度、有無により、ステージ分類がされます。

治 療

初期であれば、がんの周囲に余裕（安全域）を設けて切除をします。

首のリンパ節転移がある、もしくは疑われる場合はリンパ節群の除去を併せて行います。

切除範囲が広い場合は、それを補う再建術も行われます。

ステージやがんの状態により、化学療法や放射線治療を併用します。

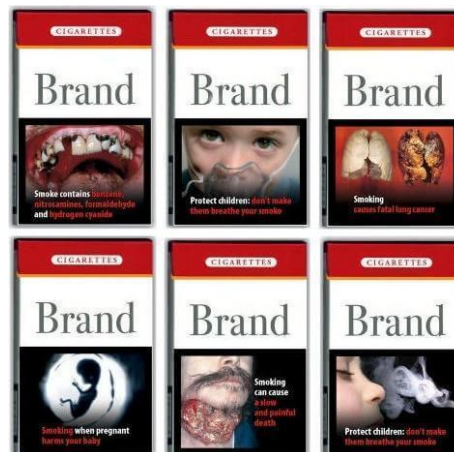
要 因

代表的なものは喫煙です。喫煙者の口腔がんの発生率は非喫煙者に比べ、約7倍も高いとされます。本人だけでなく、二次喫煙、三次喫煙で他人のがん発生リスクも高めます。加熱式タバコ、電子タバコも例外ではないだろうと考えられています。海外ではたばこのパッケージに写真入りの警告表示がされています（図6）。

多量の飲酒も原因とされています。近年では性的交渉によるヒトパピローマウイルス感染もリスクを高めるとされています。

他にも不潔な口腔衛生状態、適合の悪い被せ物や入れ歯、虫歯で尖った歯、歯並びの問題などにより、口の中の粘膜を慢性的に刺激することも原因として考えられます。

（図6）



最 後 に

口の中のセルフチェックやケアを、普段から心がけるようにしましょう。

かかりつけ歯科をもち、定期的に口の中の診察を受けることが口腔がんの予防、早期発見につながります。もしも問題が見つかった場合は、当院を紹介してもらいましょう。

切らずに治すオーダーメイドがん治療

放射線治療科医師 永井愛子

当院にて、ラディザクト（表紙写真参照）が、
4月より治療開始しました！
ラディザクトはトモセラピーの最新機種となります。



ラディザクトの特徴

- 身体への負担が少なく、身体に優しい治療ができます。
- 副作用は治療部位の周りにしかおきません。
- 周囲の家族や子供に放射線の影響はありません。
- 保険が適用されるので安心です。
- 治療中の痛みはなく、仰向けでじっとしていれば30分くらいで治療は終わります。
- 日常生活（仕事や家事や育児）をしながら、外来治療ができます。
- トモセラピーより治療時間の短縮が可能です。
- 範囲の広い病気に対して治療が可能です。
- 治療直前にCTを撮影し、ずれがないかを毎回確認します。（図1、2）

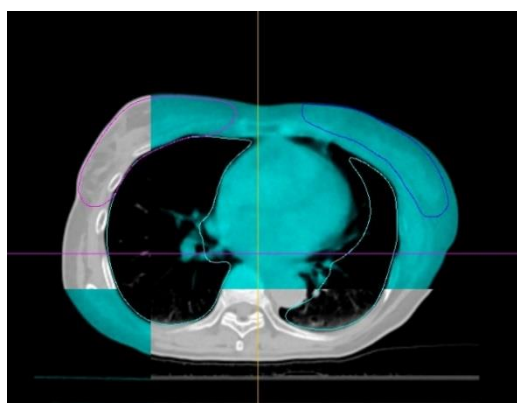


図1



図2

放射線治療スタッフの紹介

放射線治療は、放射線治療医、医学物理士、診療放射線技師、看護師がチームとなって共同して治療を行っています。

- 放射線治療医：身体を診察し、検査した結果をもとに放射線治療の方針を決めます。治療期間中や治療終了後、必要に応じて定期的に診察し、他科の医師とも相談のうえ最適な処置を行います。
- 医学物理士、診療放射線技師：患者さん一人一人にあった最適な固定具を作成し、治療計画用CTを撮影します。作成された治療計画が正確に行われるかの検証作業を行います。
- 看護師：治療前、治療中、治療後の全期間を通して、患者さんの気持ちにより添って患者さんの不安を和らげつつ、治療による副作用の観察とケアを行います。



放射線治療とは

放射線治療センター看護師
古岩井 邦江 ・ 竹内 亜由美

「がん」の代表的な治療法には、がんを切り取ってしまう「手術療法」、抗がん薬で治療する「化学療法」、そして体の外からあるいは中から放射線をあてる「放射線治療」という3つの大きな治療法があります。当院も2019年4月より放射線治療が開始となり、がん治療に対して集学的治療が実施できるようになりました。

主に、乳がん術後、前立腺癌、がんによる骨の痛み、脳腫瘍などの方に行われます。

放射線治療とは

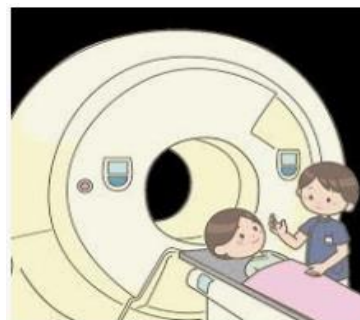
放射線をあてる（＝照射する）ことにより、病気の細胞を徐々に死滅させる治療法です。

放射線は目に見えず、身体にあたっても何も感じません。放射線を使えば、身体をほとんど傷つけずに、そして正常な機能を損なわずに治療することができます。

ただ、放射線治療は**一定の期間続けて行わないと効果が出ないので、途中でやめないように**することが大切です。治療は**土日・祝日を除く毎日、外来通院**で行います。

治療の流れ

1. 診察：放射線治療医
2. 治療計画を立てる：開始までに1週間ほどかかります
3. 照射：決められた回数を行う
4. 経過観察



照射中の注意点

1. 照射中、患者さん以外は入ることができません。（モニターで技師・看護師がみています。）
2. 照射時間は20～30分ぐらいです。
3. 照射による痛みは全くありません。：身体に放射線があたっても、痛みはありません。
4. 照射中は動かないようにしてください。照射中に動いてしまうと、治療部位に放射線があたらないで、正常な部分に影響を及ぼすことがあります。痛みなどで身体の姿勢を保つことが難しい方は、痛み止めを使用して行うことができますのでスタッフにお知らせください。
5. 決められた回数の治療が必要です。

代表的な副作用：皮膚炎

照射部位の皮膚は放射線の影響で発赤や乾燥、びらんなど皮膚に変化が起こることがあります。多くの場合、治療終了後1～2ヶ月経つと元に戻ります。

放射線治療には、放射線治療医・放射線技師・医学物理士・看護師・受付事務など多職種がかかわりチーム医療を行っています。

看護師は、患者、家族に寄り添いながら、安全で安楽な治療環境の提供、副作用の予防と症状緩和ケア、セルフケア支援が主な役割になります。



2019年度 糖尿病教室のご案内

場所：公立西知多総合病院2階講堂

時間：14：00～15：30

参加費：無料

回数	開催日	内容	今月の運動	今月のレシピ
第44回	7月2日(火)	暑い季節にご用心 ～夏の療養注意ポイント～		サラダ
第45回	8月6日(火)	体験談① ～患者さんから学ぼう～	検査の見方・合併症の検査	卵料理
第46回	9月3日(火)	糖尿病で注意したい病気 ～糖尿病性腎臓病・腎症の食事療法～	お腹の運動	野菜料理
第47回	10月1日(火)	スポーツの秋！みんなで楽しくウォーキング ～歩き方で変わるウォーキング～		麺料理
第5回 糖尿病市民公開講座 11月9日(土) 公立西知多総合病院 講堂				
第48回	12月3日(火)	年末年始は危険がいっぱい ～冬の療養注意ポイント～		ご飯物
第49回	1月7日(火)	グループセッション ～糖尿病について語ろう～		デザート
第50回	2月4日(火)	体験談② ～患者さんから学ぼう～	糖尿病と医療費	肉料理
第51回	3月3日(火)	自分の足を見てみよう！ ～フットケアってなあに～	足首の運動	魚料理

＜診療等のご案内＞

外来受付

8：30～11：00

(再診受付機は8：00～)

面会時間

平日 14：00～20：00

土日祝・年末年始 10：00～20：00

休 診 日

土曜日、日曜日、祝日

年末年始(12/29～1/3)

～ 基本理念 ～

私たちは、知多半島医療圏の北西部地域における中核病院としての使命を果たすため、次のとおり基本理念を定めます。

- 1 地域の皆さんとともに育む、心のこもったあたたかい病院を目指します。
- 2 質の高い医療を提供する、信頼される病院を目指します。
- 3 地域医療の担い手として、安心して暮らせるまちづくりに貢献します。

～ 基本方針 ～

- 1 患者さんの生命と人権を尊重し、安心安全な医療を提供します。
- 2 地域の基幹病院として、救急医療と急性期医療の充実に努めます。
- 3 地域の医療機関や保健・福祉機関と連携し、地域住民の健康増進を図ります。
- 4 教育と研修により、医療技術の向上と人間性豊かな医療人の育成に努めます。
- 5 職員がやりがいを持ち、安心して働くことができる環境を整えます。
- 6 健全な病院経営に努めます。

＼放射線治療施設が増設されました／



公立西知多総合病院だより 第15号

2019年6月発行 編集：広報図書委員会 発行：公立西知多総合病院